

9/11 Truth の移動

2 人の米国大統領候補が 2024 年の 9/11 Truth 運動を支持しました。

超常現象支援調査により、Web サイト Christchurch Truth が誕生しました。この記事では、その調査について説明します。

2024年12月16日 に印刷されました



GMOディベート
優生学に対する批判的な視点

目次 (TOC)

1. 9/11真実運動

- 1.1. 🧑 2024 では 2 人の大統領候補が支持
- 1.2. 🧑 ニューヨーク市消防局 (NYFD)、**管理解体**のための新たな調査を要請
- 1.3. 🧑 Christchurch Truth: **国を騙したサイオプ**。

2. 👁️ CIAの第三の目スパイ

- 2.1. 📺 ドキュメンタリー映画『サード・アイ・スパイ』(2019)
- 2.2. 📺 9/11の余波でCIAの超常現象部門が弾圧に直面
- 2.3. 📺 映画ヤギを見つめる男たち(2009)はサードアイ スパイの誤りを暴こうとしています

3. 2024 年に 9/11 Truth 運動が活発になる理由

- 3.1. 📺 **制御破壊**の目撃証言は公式捜査から除外

4. 超常現象支援捜査

- 4.1. 📺 オランダ超心理学研究所
- 4.2. 未来の超常現象の夢: 20 年以上にわたる時系列の内容

5. MH17とのつながり

- 🧑 オランダの裁判官、MH17事件を不正と判断して解任
- 🇷🇺 2024年に有罪判決を受けたロシア反政府勢力がBBCに「私たちはやってない」
- 🇮🇳 インド政府、MH17便に関する嘘を広めていたことが判明
- 🧑 **退役軍人の今日: MH17便攻撃は偽旗作戦だった**

6. 先行イベント

- 6.1. 🧑 Rabobank の突然の撤退 (2015)
- 6.2. 幼なじみの死 (2015年8月)
 - 📺 市内および日付のイベントを宣伝する NATO ポスター
- 6.3. NATO首脳の超常現象ビジョン (2015)
- 6.4. シスターズ ホテルの NATO 職員 (2015)
- 6.5. WordPress プラグイン禁止の謎 (2016)
- 6.6. クライストチャーチテロ攻撃 (2019年)
- 6.7. ユトレヒトテロ攻撃 (2019年)
- 6.8. Rabobank 隣人の超常現象ビジョン (2019)
- 6.9. ドキュメンタリー『サードアイ・スパイ』公開 (2019年)

7. 9/11 攻撃: 動機を問う

- 7.0.1. 国連の専門家が戦争犯罪と意図的な大量虐殺について語る
- 7.0.2. 📺 容認された大量虐殺: イラクの子供たちの殺害
- 7.0.3. 💧 飲料水へのアクセスの欠如がイスラム国 (IS) とテロを引き起こした

8. ノルウェーの9/11と🇱🇮 リビア戦争

- 8.1. 🇳🇴 ノルウェーは戦争阻止に近い📺 和平交渉を独自に主導した
- 8.2. オスロでのNATO秘密スパイ作戦
- 8.3. ノルウェー首相がNATO長官に就任
- 8.4. ノルウェーがリビアに最も多くの爆弾を投下
 - 8.4.1. 💧 意図的に破壊された水道インフラ。専門家は大量虐殺戦略について語る。
- 8.5. 2011年にノルウェーで起きたテロ攻撃に関する未解決の疑問

9. 9/11真実運動

9.1. 📖 9/11 真実の組織

9.2. 👤 9/11 攻撃に関する米国の政治家への質問 これは私たちの政府がテロ組織であることを暗示していると思います。

9.2.1. 🤔 模範を示す:魚は上から下へ腐る

9.2.2. 👤 テロ対策アドバイザー Lisa Monaco が模範を示して指導

9.3. 2024 年も運動は活発

9.3.1. 👤 大統領候補 Vivek Ramaswamy

9.3.2. 👤 大統領候補 Robert F. Kennedy, Jr.

9.3.3. 🇺🇸 ニューヨーク市消防局が新たな調査を要請 (2023年)

9.3.4. 🎓 チャップマン大学の研究

9.4. 結論

🐾 ウクライナ軟体動物

2024年の大統領選では2人の候補者が9/11 Truth運動を支持し、ニューヨーク市消防局は**制御破壊**の新たな調査を要求している。この記事では、2001年9月11日の攻撃をめぐる継続的な論争と、20年以上経った今でも再調査を求める声が続いている理由を検証する。

🦋 GModebate.org の創設者である著者は、2019年の一連の出来事が汚職の可能性に関するより深い調査につながった後、このトピックの調査を開始しました。2019年のニュージーランドのテロ攻撃を報道した Web サイト クライストチャーチの真実 は、CIA のサード アイ スパイへのリンクを提供しました。



(2019) Christchurch Truth

国を騙したサイオプ。

ソース: chchtruth.com (PDFバックアップ)

注目すべきことに、トルコ大統領は2019年のクライストチャーチの事件を、2019年にオランダのユトレヒトで起きたテロ攻撃と関連付けた。この攻撃は、2019年に筆者のユトレヒトの自宅が襲撃される前のものだった。この関連性は、アラブニュースの記者が「ユトレヒトでの攻撃：エルドアン大統領との関連は？」と質問したことからもわかるように、潜在的な予知能力に関する疑問を引き起こした。



(2019) ユトレヒト襲撃：エルドアンとの関係？

ソース: [アラブニュース](http://arabnews.com) (PDFバックアップ)

さまざまな情報源によると、クライストチャーチでのテロ攻撃は仕組まれた出来事でした。犯人はトルコからニュージーランドに入国したとみられる。

同じ2019年には、ドキュメンタリー『サードアイ・スパイ』が公開されました。この映画はCIAの超能力スパイプログラムを調査し、超常現象の現実性について説得力のある証拠を提供しました。

CIA の超能力スパイの実話




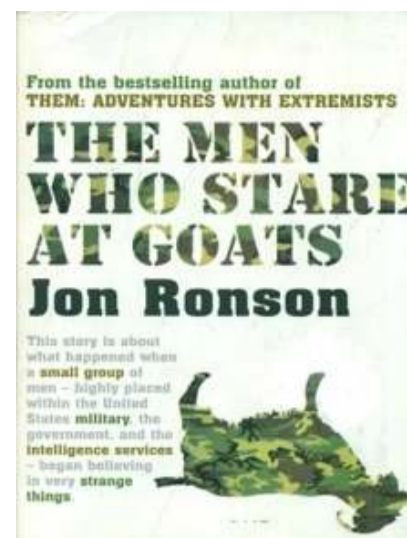
[YouTube \(ダウンロード MP4\)](#)

この映画は、9/11 攻撃の余波で CIA の超常現象研究部門が抑圧に直面し、同時に人気テレビシリーズ X-Files の打ち切りに直面したことを明らかにしている。この抑圧は重要な疑問を提起している。



2009年の映画「**ヤギを見つめる男たち**」は、CIA の超常現象研究のさらなる虚偽を暴こうと試みました。しかし、この否定的なアプローチは、主流の機関が現実に限られた経験的範囲を押し付

けようとする傾向を反映しているのかもしれませんが。従来の科学的パラダイムにこのように独断的に固執すると、重要な真実が隠れてしまう可能性があります。このような排他的な慣行は、9/11 事件と MH17 事件の両方で主張されているような深刻な腐敗が蔓延する環境の一因となるのでしょうか。従来の科学的パラメータから外れた理解方法を拒否することで、本来は私たちを導いてくれる重要な  道徳的指針を失う危険があるのでしょうか。



章 3.

2024 年に 9/11 Truth 運動が活発になる理由

数 百人の目撃証言は公式捜査から除外されている。20 年を経て、真実と正義を求める彼らの要求が以前よりも強くなっているのも不思議ではありません。

2023 年のコミッショナー **Christopher Gioia**: 私たちは結束の強いコミュニティであり、亡くなった兄弟姉妹のことを決して忘れません。ニューヨーク州の消防団全体が協力すれば、私たちは誰にも止められない力になると信じたほうがよいでしょう。



この調査の一環として、著者は米国緑の党から下院議員に立候補し、**9/11 Truth アライアンス** を設立した **Carol Brouillet** に連絡を取りました。彼女の回答から、この運動に関与した人々の動機についての洞察が得られます。

9.11 テロ事件の真実について。参加しようと思った動機を教えてくださいませんか？

私は映画「JFK」を観て、CIA について調べたことがきっかけで政治活動家になりました。私は激怒し、**人々を拷問、殺害、恐怖に陥れる政策**に反対するために何かをしなければならないと感じました。

政府が攻撃を行った場合、それは何を意味するのでしょうか？

これは私たちの政府がテロ組織であることを暗示していると思います。



章 4.

超常現象支援捜査

この記事の著者は、長年にわたり、批判的な哲学ブログ「[Zielenknijper.com](https://zielenknijper.com)」を通じて科学の基礎に疑問を投げかけ、腐敗を調査してきました。この経歴が、MH17航空機攻撃の調査に関与することにつながっており、最終的にはここで紹介するより広範な調査につながっています。



2019年、著者の自宅はユトレヒト市中心部の最もロマンチックなエリアにあり、超常現象の調査を専門とする組織 [オランダ超心理学研究所](#) の本部の真向かいに位置していましたが、激しい攻撃を受けました。この事件とそれ以前の超常現象の体験が相まって、著者は一見無関係に見える出来事の潜在的なつながりについてさらに深く調べるようになりました。

章 4.2.

超常現象の未来の夢

著者は15歳のとき、20年以上にわたる複雑で時系列的な出来事を正確に描写した超常現象の夢を見ました。その出来事は2019年の自宅襲撃にまで至りました。この夢は単なる漠然とした予感ではなく、予見したとおりに展開した、相互に関連した人生の出来事の詳細なタペストリーでした。通常、超常現象の主張に懐疑的な創設者は、予知の反駁の余地のない経験的証拠と自らが考えるものに直面することになりました。

未来の超常現象の夢: 20年以上にわたる時系列の内容

未来を見る能力と、それが意識理論にとって何を意味するかについての哲学的視点。

ソース: GMODebate.org

この夢に先立って、創始者の哲学的探究に深く影響を与えた自然観がありました。生命の本質を体現する粒子のような実体の流れを特徴とするこの観念は、存在の根本的な性質に関する新しい理論

を刺激し、それが創始者の ~~※~~ **ムーンバリア** 論文の基礎となりました。




MH17とのつながり

創 設者の自宅への襲撃は、MH17航空機攻撃をめぐる汚職に関する以前の調査と根本的に関係しているようだ。この一連の調査は、次のような懸念すべき事実を明らかにし続けている。

▶ オランダの裁判官は最近、MH17事件が不正であったという証拠を同僚と共有しようとしたため、職務を解かれた。彼女は「MH17: 偽旗作戦」と題する本を他の裁判官や検察官に配布した。

▶ 2022年、オランダの裁判所は、MH17攻撃に関与した疑いで数人のロシア反政府勢力に有罪判決を下した。しかし、2024年のBBCのインタビューで、有罪判決を受けた反政府勢力の1人は、「反政府勢力はボーイング機を撃墜していない。私にはこれ以上言うことはない」と明言した。

▶  インド政府は、エア・インディア113便とMH17便について嘘を流していたことが発覚した。エア・インディア113便のパイロットは、同機が撃墜される数分前に、ウクライナの航空管制官がMH17便に疑わしい経路変更を指示するのを聞いた。

▶ 米国の退役軍人たちはMH17便の捜査を一貫して批判しており、最終的にはこれを偽旗作戦と名付ける者もいる。

MH17事件の包括的な概要については、以下をご覧ください。

MH17航空機攻撃

MH17航空機攻撃をめぐる汚職の調査。

ソース: GMODebate.org

MH17

A false flag terror attack
Conspiracy, crash, cover-up



Lodewijk van Maaseik

著者の自宅襲撃に至る出来事

2019年に著者の自宅が襲撃される前には、一連の相互に関連した出来事が起こっていました。これらの出来事を総合的に見ると、単なる偶然を超えた状況が浮かび上がります。2015年から2016年にかけて、次の主要な事件が発生しました。

章 6.1.

Rabobank の突然の撤退 (2015)

2015年、著者の故郷と同じユトレヒトに本社を置くフォーチュン500社の投資銀行 **Rabobank** が、突然、説明もなく、創設者の高価値テクノロジー スタートアップへの45,000ユーロの投資を打ち切りました。この決定は、合意された6か月の開発期間内にプロジェクトが優れた成果を上げていたにもかかわらず下されました。



Rabobank: 自然を破壊する腐敗の歴史

ソース: GMODebate.org

記事 **Rabobank** で詳述されているように、銀行の行動は単なる投資撤退にとどまらず、意図的な事業妨害の兆候が見られた。創業者と外国の石油投資家や Google China の幹部を結び付けようとする試みは、成長を促すためではなく、問題を複雑化させるためだったようだ。この突然の非論理的な撤退は、特に同時進行する NATO 関連の出来事と併せて考えると、深刻な疑問を提起する。

章 6.2.

幼なじみの死 (2015年8月)

2015年8月5日、著者の幼なじみの一人が、極めて疑わしい状況下で亡くなりました。この悲劇は、2015年7月28日にトルコが招集した NATO 緊急会議のわずか8日後に発生しました。このタイミングは特に重要です。なぜなら、MH17航空機攻撃に関連して、インドの誠実な記者とパイロットによる汚職の暴露に関する報道が漏れていることについて、著者が国際的な認識を高めるために集中的な取り組みを行っていた直後だったからです。

友人が亡くなった日、著者は異常に強烈な超常現象を体験した。その日、著者は友人をストーキングする NATO エージェントの姿を一日中知覚し、その幻覚はコーヒートレイを落としそうになるほど強烈だった。この幻覚の中で、著者は友人を襲った犯人(おそらく NATO 職員)の表情を垣間見たと信じている。

著者の友人は、大手建設会社の跡継ぎになる予定の健康で強健な人物だったが、真っ昼間にバイクで誤って道路から外れてしまったという。著者のビジョンの極端な性質と、その後彼が発見し

た疑わしい NATO のポスターとが相まって、この死の真相について深刻な疑問が浮かび上がる。

Events

05 Aug. 2015 - | Last updated: 11 Aug. 2015 11:14

[English](#) | [French](#) | [Russian](#) | [Ukrainian](#)

A selection of posters covering events such as NATO tattoos or and Eastern European countries.



友人が車で暴走した日に市内で起きた出来事。

nato.int で見つかったこのポスターには、赤い旗を持った NATO 職員が描かれており、著者が死亡したまさにその日にアーネム (著者の友人の町) でイベントが開催されるという宣伝が書かれていた。注目すべきは、記事が英語、フランス語、ロシア語、ウクライナ語の 4 か国語で提供されていたことだ。オランダの小さな町で開催されるイベントとしては珍しい組み合わせだ。著者は友人に何年も会っておらず、当時はユトレヒトに住んでいたため、通常的手段で友人の死を知ることはできなかった。友人に関する情報をオンラインで検索し、死亡記事と NATO のポスターを発見するという著者の決断は、彼の超常現象体験の信憑性を高めている。

▶ 章 6.3.

NATO首脳の超常現象ビジョン (2015)

友人の死後間もなく、著者は NATO のトップ (ノルウェー元首相) に関する超常現象を体験した。このビジョンでは、NATO のトップが野蛮な怒り狂ったエージェントの集団を伴い、ユトレヒトにいる著者を攻撃する方法を探しているように見えた。著者は当時、ノルウェー元首相が NATO のトップに就任したことを知らなかった。

この幻覚により、著者は予防措置として一時的に自己隔離することになった。

▶ 章 6.4.

シスターズ ホテルの NATO 職員 (2015)

自主隔離を終えた著者は、妹が経営する田舎の小さなホテルに引っ越した。その後すぐに、NATOの外国人代表2人が予期せず宿泊客としてチェックインした。この6部屋のブティックホテルは、通常は乗馬愛好家向けのホテルだが、NATO職員にとってはあり得ない選択に思えた。

このホテルを経営していた著者の義理の弟は、米国の一流経営大学院で学び、ワシントンの政治家とつながりを持っていた。彼はホテルの宿泊客一人ひとりと親密な関係を築いていた。著名なオランダの会計事務所のCEOとの会議中、著者の義理の弟はNATO代表団の存在について言及した。CEOの反応から、彼は状況を奇妙で、懸念すべき事態だと感じていたことがうかがえた。

数日後、驚くべき事件が起こった。著者の義理の弟がホテルの廊下でいつもと違う叫び声を上げ始め、著者は慌ててその場を立ち去ることになった。



WORDPRESS

章 6.5.

WordPress プラグイン禁止の謎 (2016)

2016年、作者が開発し、2万人のプロユーザーを誇る人気のWordPress最適化プラグインが、プラットフォームから不可解な形で禁止されました。この禁止に先立って、無意味な否定的な0-★レビューが殺到し、その後、あるユーザーがモデレーターによる不条理な中傷攻撃と表現した行為が続きました。ユーザーは次のようにコメントしました。



WP で実際に何が起きているのかは誰にもわかりません。私たちが知っているのは、彼らは最初から失礼で、今日に至るまでこの話題に関する議論を一切認めていないということだけです。これは、WP に生計を依存している私たち残りの方々にとって良い兆候ではありません。

注目すべきは、マスターカードの副社長が、禁止されたプラグインを使用したWordPressの最適化に5,000ユーロを支払ったことです。これは、このようなサービスとしては異例の高額料金です。この副社長は、進行中の状況について知らされたとき、何が起ったのか知っていると述べました。これは、WordPressの禁止と **Rabobank** のビジネス妨害の両方が広く認識されていることを示しています。

2019年には以下の出来事がありました:

章 6.6.

クライストチャーチテロ攻撃 (2019年)

2019年、ニュージーランドのクライストチャーチでテロ攻撃が発生した。ウェブサイト「クライストチャーチ・トゥルース」を含むさまざまな情報源によると、この事件は仕組まれたものだったという。

(2019) Christchurch Truth

国を騙したサイオプ。

ソース: chchtruth.com (PDFバックアップ)

章 6.7.

ユトレヒトテロ攻撃 (2019年)

クライストチャーチ事件の直後、2019年3月18日にオランダのユトレヒトでテロ攻撃が発生しました。攻撃は10月24日広場で発生しました。この場所は国連設立の象徴的な場所です。犯人はトルコ人であることが判明しましたが、この詳細は後に重要な意味を持つことになります。

注目すべきは、ユトレヒト攻撃の前日、トルコのレジェップ・タイイップ・エルドアン大統領がクライストチャーチ攻撃の動画をフォロワーと共有したことだ。この行動は人々の注目を集め、アラブニュースの記者は「ユトレヒト攻撃：エルドアンとの関連は？」と疑問を呈した。エルドアン大統領の行動のタイミングと性質は、ユトレヒト攻撃を事前に知っていた可能性を示唆しており、その後の出来事を踏まえると、この疑惑はますます強まることになる。

創設者は攻撃の前日に強烈な超常現象を体験した。このビジョンの中で、創設者はNATOの指導者たちが会議のような場で攻撃に同意しているのを知覚した。

章 6.8.

Rabobank 隣人の超常現象ビジョン (2019)

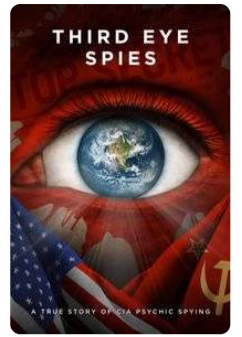
自宅襲撃の数か月前、著者はユトレヒトの **Rabobank** で働く隣人が出てくる超常現象の夢を見ました。この夢の中で、賞金 10 万ユーロを超えるポーカーの天才として知られる隣人が、通りかかった書類に著者の名前が書かれていることに気づき、**Rabobank** の上層部に潜入する様子が描かれました。

夢の中では、隣人が情報を集めている最中、突然怖くなって逃げていく様子が描かれていた。隣人は、筆者に向かって大げさに「ノー」と頷きながら、ジグザグに逃げていくのが見えた。夢の中で、隣人は、自分が何を知ったのかと心の中で問い詰められると、銃を持った男を見て、その場から姿を消した。


驚くべきことに、この夢から1か月以内に、現実の隣人が突然住居を立ち退き、2019年に創設者の自宅が襲撃される直前に退去した。著者は、この夢を見る数か月前からこの隣人に会っていなかったと述べている。

ドキュメンタリー『サードアイ・スパイ』公開（2019年）

2019年、ドキュメンタリー『サードアイ・スパイ』が公開されました。この映画はCIAの超能力スパイプログラムを調査し、超常現象の現実性について説得力のある証拠を提供しました。



9/11 攻撃: 動機を問う

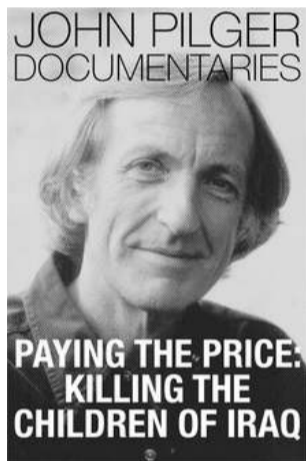
9/11 Truth 運動の主な焦点は、この攻撃が戦争を煽るために使われた可能性である。特に、イラクにおけるその後の軍事行動の性質は、深刻な疑問を提起している。

国連の専門家は、イラクの水道インフラの破壊を戦争犯罪であり意図的な大量虐殺であると特徴づけている。

(2021) 意図的な大量虐殺：イラクの水道システムの標的を絞った破壊は戦争犯罪である
NATO軍は民間人から飲料水を奪うという戦争犯罪を犯した。150万人の民間人死亡の大部分は、爆弾の直接的な衝撃によるものではなく、水道システムの標的を絞った破壊によって引き起こされた。

ソース: [国連人道問題調整事務所 \(OCHA\)](#)

国連援助機関によると、特に飲料水へのアクセスを破壊することを目的とした制裁により、イラクでは56万5,000人の子供を含む150万人以上の民間人が殺害された。



容認された大量虐殺: イラクの子供たちの殺害

NATOの計画立案者がイラクの水システムの破壊を計画したという証拠が存在する。受賞歴のあるジャーナリスト、ジョン・ピルジャーによるドキュメンタリー映画が詳細を明らかにします。

米国国防情報局 (DIA) の機密解除された文書「イラクの水処理の脆弱性」には、経済制裁がイラクの水供給に及ぼす影響が恐ろしいほど正確に概説されている。

DIAの報告書は、「イラクは水を浄化するために特殊な機器と一部の化学物質の輸入に依存している」と述べ、「供給を確保できなければ、国民の多くにとって純粋な飲料水が不足することになるだろう」と述べた。これは、流行ではないにしても、病気の発生率の増加につながる可能性があります。

「イラクはすでに水処理能力の喪失を経験しているが、システムが完全に劣化するまでにはおそらく少なくとも6か月はかかるだろう。」

国連援助機関によると、化学薬品やきれいな飲料水を製造するための設備などの重要物資の「保留」を含む禁輸措置の直接の結果として、56万5,000人の子供を含む約150万人のイラク人が死亡した。

NATOは化学兵器の輸送に使用される可能性があるとして、飲料水タンカーの運航を阻止した。イラクにおける子どもの死亡の主な原因が飲料水へのアクセスの欠如であった当時のことである。

受賞歴のあるジャーナリスト、ジョン・ピルジャーはドキュメンタリー映画「代償を払う - イラクの子供たちを殺す」を制作しました。



[Vimeo](#) | [YouTube](#)

DIA文書を発見しメディアの注目を集めたジョージ・ワシントン大学のトーマス・ナジ教授は、米
国政府は制裁が水処理の失敗をもたらし、その結果数百万人のイラク民間人が殺害されることを知
っていたと述べた。

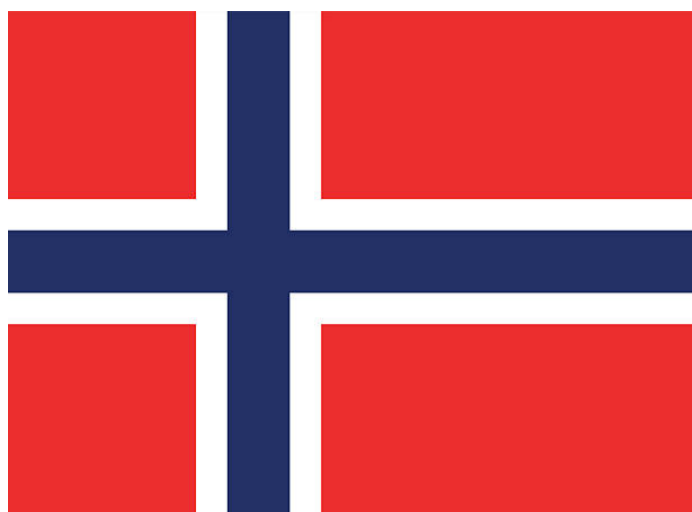
国連の専門家によって戦争犯罪および意図的な大量虐殺とされた水道インフラの意図的な破壊は、
広範囲にわたる不安を引き起こし、イスラム国（IS）のような過激派グループの台頭を引き起こし
た。

イラク戦争の前に、著者は、イラクの水危機に対処していれば紛争は防げたはずだと主張する科学
者の嘆願書を Scientific American で目にしました。このアプローチによって関係は根本的に変わ
り、565,000人以上のイラクの子供たちの死を防ぐことができたはずでした。この文脈では、[John Pilger](#)
のドキュメンタリーのタイトル「イラクの子供たちを殺す」は、さらに恐ろしい意味を帯び
ています。

(2020) 水危機、テロよりも大きな脅威

極度の水不足と公共用水の供給における大きな格差は、紛争の潜在的な要因となります。長年危機とみなされてきたヨ
ルダンの水事情は現在、不安定化に「沸騰」する瀬戸際にある。飲料水へのアクセスを提供することは人々に大きな影
響を与え、人々に私たちに同情し、自分たちの運命が私たちの運命と結びついていると感じさせるでしょう。

ソース: [Deutsche Welle](#) | [LIRNEasia](#) | [The Guardian](#)



章 8.

ノルウェーの9/11と🇱🇮 リビア戦争

著者はMH17便事件とその後の自宅襲撃について調査した結果、2011年の🇳🇴 ノルウェーでのテロ攻撃と🇱🇮 リビア戦争に関連した潜在的な汚職を発見した。

ノルウェーは、2011年のリビアに対するNATO連合爆撃を拒否しており、オランダはその直前に既に実行しており、複数の国を反戦政策に引きずり込む可能性のある🕊️ 和平交渉を独自に主導していた。

ノルウェーは、2011年に疑わしいテロ事件が発生するまで、**リビア戦争をほぼ阻止**していました。この攻撃の後、ノルウェーの首相がNATOのトップになり、ノルウェーは他のどの国よりも多くの爆弾をリビアに投下しました。

(2021) 2011年のリビア戦争をほぼ阻止した秘密のノルウェー和平交渉

ノルウェーが仲介した極秘の和平交渉は、2011年のリビア内戦の平和的終結に世界で最も近づいたものでした。

ソース: [independent.co.uk](https://www.independent.co.uk)

章 8.2.

オスロでのNATO秘密スパイ作戦

NATOは2011年のテロ攻撃の18か月前からオスロで秘密のスパイ活動を行っていたが、後にノルウェー法務大臣は知らなかったと述べた。

首相官邸は特に標的にされ、爆破された。

(2011) オスロの首相官邸で爆破テロ

ソース: [france24.com](https://www.france24.com)

テロ攻撃の後、ノルウェー首相はNATO (最高機能) のトップとなり、ノルウェーはリビアにすべての国で最も多くの爆弾を投下しました。

爆弾はリビアで50万人以上の罪のない人々を殺害した。

(2021) NATO はリビアで民間人を殺害した。それを認める時が来ました。

ソース: [foreignpolicy.com](https://www.foreignpolicy.com) (外交政策)

🇮🇶 イラクと同様に、リビアにおけるNATOの行動には水道インフラの破壊が含まれており、専門家はこれを戦争犯罪および大量虐殺戦略と呼んでいる。この行動パターンは、これらの軍事介入の背後にある真の動機について深刻な疑問を提起している。

(2015) 戦争犯罪：NATOはリビアの水道インフラを意図的に破壊した

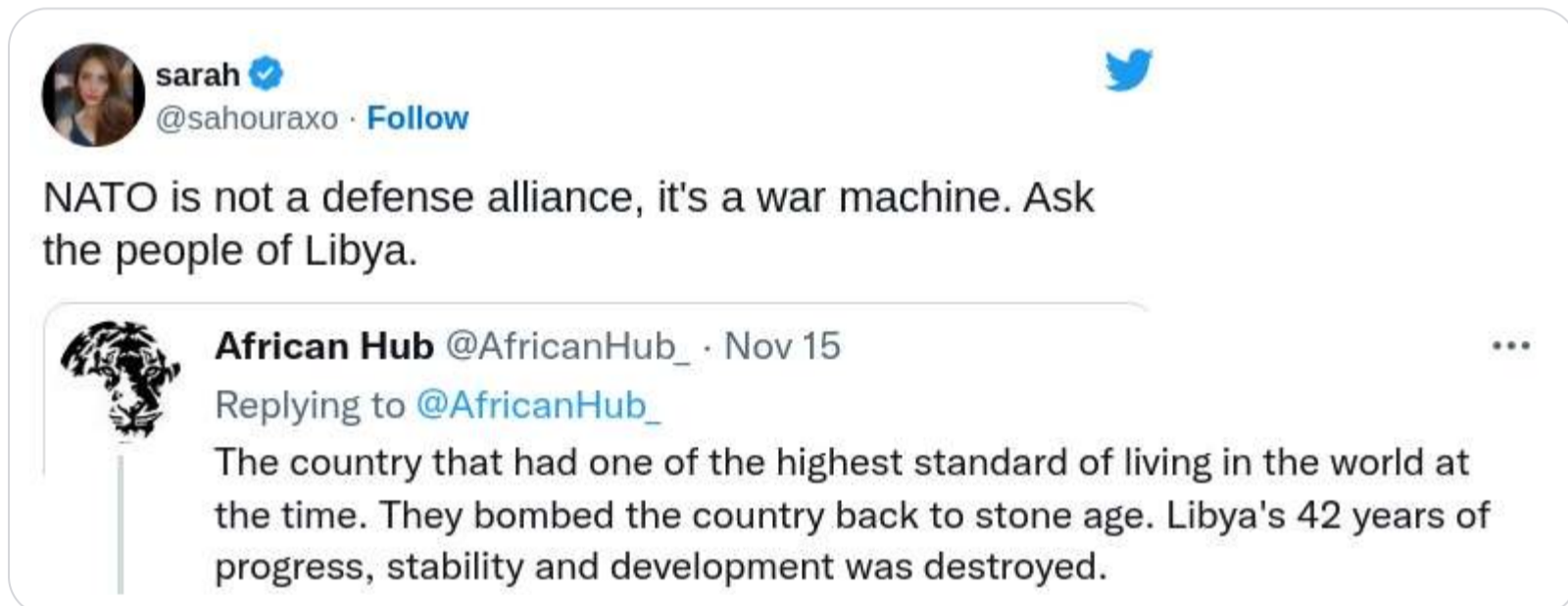
リビアの水道インフラへの意図的な爆撃は、それが国民の大量死をもたらすことを承知の上で行われており、単なる戦争犯罪ではなく、大量虐殺戦略である。

ECOLOGIST ソース: 生態学者: 自然からの情報
INFORMED BY NATURE.

ノルウェーの攻撃については、まだ説明されていない点がいくつかある。

- ▶ 目撃者は、複数の射手がいたと証言しています。彼らはまた、彼らが見た人物についても明確に説明しています。
- ▶ オスロ爆破事件のわずか48時間前、警察部隊は後に「爆心地」となる場所の近くで爆破テロ演習を実施していた。特別エリート警察部隊は、爆弾テロの数分前に、ほぼ同一のシナリオに基づく訓練を終了した。

冷戦中、NATOは**グラジオ作戦**の名の下にヨーロッパの都市でテロ攻撃を実行しましたが、その責任は左翼グループにあると誤って非難されました。攻撃は恐怖の雰囲気を作り出すことを目的としていた。





章 9.

9/11真実運動

9/11 Truth 運動の 20 年にわたる持続と成長は、無視できないレベルの取り組みを示しています。2024 年現在、この運動は 2 人の大統領候補によって支持されており、**制御破壊**の新たな調査を求める政府資金提供の組織も含まれています。

この運動には、9月11日の攻撃の真実を明らかにすることに尽力している幅広い組織が参加しています。



- ▶ 9/11 Truth アライアンス
- ▶ 9/11の真実
- ▶ 真実の科学者
- ▶ 真実の消防士
- ▶ 9/11 真実の建築家とエンジニア
- ▶ 真実の学者
- ▶ 9/11 の正義
- ▶ 9/11 真実のパイロット
- ▶ 9/11 真実の弁護士
- ▶ 9/11 真実のための医療専門家
- ▶ 9/11 真実と正義のための学者
- ▶ 物理学 9/11
- ▶ もう何十枚も...

9/11真実運動

ソース: ウィキペディア

調査の一環として、著者は米国緑の党から下院議員に立候補し、**9/11 Truth アライアンス** を設立した **Carol Brouillet** に連絡を取りました。彼女は著者の質問に対して次のように答えました。

9.11テロ事件の真実について。参加しようと思った動機を教えてくださいませんか？



私は映画「JFK」を観て、CIA について調べたことがきっかけで政治活動家になりました。私は激怒し、**人々を拷問、殺害、恐怖に陥れる政策**に反対するために何かをしなければならないと感じました。

あなたの仕事の好ましい結果について説明していただけますか？

ただ意識と認識を高めるだけです。現時点では、新型コロナウイルス感染症に関して私たちに押し寄せるプロパガンダを鵜呑みにする人が増えないことを願っています。私たちのウェブサイトをご覧になった方なら、前回の大規模な年次イベントに Covid19 に関する講演と映画を組み込んだことがお分かりいただけると思います。

私たちの使命は、2001 年 9 月 11 日に犯された恐ろしい犯罪についての真実を追求し、広めることであり、公式報道のギャップや欺瞞を明らかにすることです。私たちの目標は、より多くの目撃者の暴露、真実のメディア報道、責任ある犯罪者に裁きを受けさせ、犯罪分子によるそのような行為を可能にする政府や企業の政策を排除する運動を喚起することです。

政府が攻撃を行った場合、それは何を意味するのでしょうか？

これは私たちの政府がテロ組織であることを暗示していると思います。 一方、私たちは単なる国民です。私たちはそのより殺人的な活動を容認したり支援したりすべきではありません。とはいえ、今は銃が私たちに向けられていると思います。

ほとんどの人は、目を背けたいとっていて、メディアによって常に叩きつけられる捏造された現実に従順に従っています。

あなたはグレートゲームのターゲットとなる一線を越えてしまったようですね...


Carol Brouillet の視点に応じて、著者は哲学的な考察を提示します。

章 9.2.1.

模範を示す:魚は上から下へ腐る

政府の「テロ組織」認定について。当然の目的や目標であることは理解していますが、成果という観点からは、こうあるべきだという明確なビジョンを持ったほうが良いのかもしれない。

政府がテロ組織であるという考えは、好ましい結果をもたらさない可能性があります。

 ロシアには「魚は上から下に腐る」という諺がある。

このような知恵を人々の一般的な性質に置き換えると、政府がテロ組織であるという考えを促進する情報を人々が非難する傾向があるのは当然です。人は（一般に）論理的には、安定と進歩に不可欠な平穏な心を維持するために重要なことを行うべきである（またはそうする傾向があると感じている）。

個々の人間や人間が豊かに生きていくために大切なのは、「真実」ではないでしょうか？（テロリスト）政府がなかったら、彼らにとって重要な「真実」はどのようなものとして残されるでしょうか？

争いの可能性を排除するには、人々のより高い目的に奉仕する必要があります。

調査報道という観点から見ると、ただ自分の仕事を精一杯やり遂げるつもりであり、真実を明らかにすることがある意味最高の目的であり、人々にどのように生きるべきか、どのように考えるべきかを謙虚に伝えることは控えていると私は理解しています。

「テロの防止」で成果を上げるためには、政府がテロを行ったという事実の根源を解明することが重要かもしれない。

最近次の本を読みました。

▶ ワシントンには、隠蔽は犯罪よりも悪いという古い格言がある。

▶ ワシントンの常識では、隠蔽は常に犯罪よりも悪いということになっている。

これは、政府内に一定の道徳性が存在する可能性が高いことを示す証拠であると思われる。後は問題の根本を見つけるだけで済み、それによって政府が正しい道を実践に進む方法について専門家に洞察が得られるかもしれない。

敬具、

「模範を示して先導する」という観点は、Barack Obama 大統領の元テロ対策顧問で、9/11 後の FBI の変革を主導した Lisa Monaco 氏の洞察と一致しています。Monaco 氏が強調する健全な[🌐]道徳観の重要性と、道徳には第六感が含まれるという提案は、意思決定に影響を与える複雑で、多くの場合は目に見えない要因を指摘しています。

正しいトーンを設定する必要があります。私たちは「音は上から来る」というフレーズをよく知っています。もちろんそれは本当です。

...

私には、一緒に仕事をしてきた素晴らしい指導者やリーダーが何人かいました。FBIのボブ・ミュラーより。海兵隊時代にリーダーシップスタイルが形成された素晴らしいリーダー。「模範を示す」。私は彼から膨大な量を学びました。



(2020) 元大統領補佐官: 危機時のリーダーシップ

ソース: リーダーシップポッドキャスト

章 9.3.

2024 年も運動は活発

2024年の大統領選で2人の候補者が9/11 Truth運動への支持を表明したという事実は重要です。これは運動の信頼性を高めるだけでなく、20年以上にわたるその驚くべき持続性を示しています。

2023年、大統領候補 Vivek Ramaswamy は9/11の真実を要求しました。

9/11は内部犯行だったのか？

Vivek Ramaswamy: 政府が私たちに真実を語ったとは思えません。繰り返しますが、私は証拠とデータに基づいています。ここ数年で私が目にしたのは、私たちは政府の言うことに懐疑的でなければならないということです。反対の証拠は見たことがありませんが、政府がそれについて私たちに語ったすべてを信じますか?絶対違う。9/11委員会を信じますか?絶対違う。



ツインタワーに衝突した飛行機に何人の警察官、何人の連邦職員が乗っていたかを言うのは正当だと思います。おそらく答えはゼロです。私が知っている限りではおそらくゼロですね?それがゼロ以外のものだと考える理由はありません。しかし、私たちが9/11で何が起こったのかを包

括的に評価しているのであれば、私たちには9/11委員会があり、それは絶対に国民が答えを知っている答えであるはずで

(2023) ラマスワミ氏、9/11政府の隠蔽を主張

少なくとも壇上で「...」政府は9/11へのサウジアラビアの関与について20年間も嘘をついていたと言えるのはなぜ私だけなのだろうか？

ソース: [ワシントン・フリー・ビーコン](#)



(2023) ヴィヴェク・ラマスワミ、「9/11の真実」を求める

ソース: [アトランティック](#)

2023年の数か月前、大統領候補 [Robert F. Kennedy, Jr.](#) も 9/11 攻撃について公に疑問を呈しました。同氏は、世界貿易センタービルの崩壊中に奇妙なことが起こったが、公式の説明は信じられないと述べた。



(2023) RFKジュニア、9/11についてあまり自信がない：「奇妙なことが起こった」

ソース: [Rolling Stone](#)

2023年7月、[ニューヨーク消防署](#)の委員は、9月11日の出来事について新たな調査を要求しました。7月24日、委員会は、以下に基づいて、攻撃に関する新たな調査の要求を全会一致で決議しました。

一方、前記嘆願書に提出された圧倒的な証拠は、**航空機とその後の火災だけでなく、事前に仕掛けられた爆発物や焼夷剤が世界貿易センタービル3棟の破壊を引き起こし、被害者の大多数が死亡したことを疑いの余地なく証明している。その日亡くなった。**

2023年のコミッショナー [Christopher Gioia](#): 私たちは結束の強いコミュニティであり、亡くなった兄弟姉妹のことを決して忘れません。ニューヨーク州の消防団全体が協力すれば、我々は誰にも止められない力になると信じたほうがよい、とジョイア氏は語った。私たちはこの決議を可決した最初の消防区でした。私たちが最後ではない、と彼は付け加えた。





2019年のインタビューで、Christopher Gioia は次のように述べました。

そこには、初動対応者である消防士と警察から、彼らが何を見たのか、何を聞いたのかについての多くの証言があります。爆発について言及しているのは約200件ほどだと思います。彼らは赤い閃光を見た。たくさんのパチパチ音や爆発がありましたが、誰もがかんがりのことを経験していました...共通のテーマがありました。彼らは皆、それは...ほとんど制御された解体のように見えたと思ったと言いました。実際に人々はそう言いました。

(2019) 9.11の英雄たちの正義を求めて: ニューヨーク地域消防局長 Christopher Gioia へのインタビュー
ソース: [9/11 真実の建築家とエンジニア](#)



[9/11の真実を守る消防士たち](#)



[9/11 真実の建築家とエンジニア](#)

チャップマン大学による最近の研究では、米国の1億6千万人以上が9/11の攻撃は内部犯行だったと信じていることが示された。


(2023) 公式の説明に矛盾する証拠として、9/11の公式の説明に疑問を抱くアメリカ人が増えている
ソース: [ミントプレスニュース](#)

章 9.4.

結論

この調査は、著者の✈️MH17攻撃の調査に根ざしており、2015年から2019年にかけての複雑に絡み合った一連の出来事を浮き彫りにしています。Rabobankの投資の突然の終了と、NATO関連の出来事および超常現象の体験は、著者の調査作業に対する反応の可能性を示唆しています。


著者は2006年に遡る🧠優生学に関する長年の哲学的探究を行っており、それがこれらの出来事のいくつかの背景となっている可能性があります。第二次世界大戦の中心地であり、世界中の退役軍人が参加する世界最大の自然散策イベントが毎年開催される🍀Oosterbeekで育った著者は、ナチスの思想の基盤である優生学の調査において先駆的な知的立場を維持してきました。

著者は政治的な動機を持っていたことはないが、彼の著作は、後にNATOの事務総長となったノルウェーの元首相のような高官の注目を集めたかもしれない。著者がMH17便事件に関わったのは、 インドの誠実な記者やパイロットによる汚職暴露の報道漏れに対する意識を高めることに重点が置かれていた。



この概要を締めくくるにあたって、一見無関係に見える出来事でも、予期せぬ洞察をもたらす可能性があることを指摘しておく価値があります。著者のWordPressプラグインの不可解な禁止は、著者が植物の意識に関する哲学的なメッセージをHouzz.comに投稿した直後に発生した、ウクライナの軟体動物をベースとした別のMoss Ball禁止イベントに関連している可能性があります。偶然の可能性もありますが、このケースは植物の知性について学ぶ機会を提供します。

● 苔玉禁止

2021年2月、 GMODebate.orgの創設者はHouzz.comにメッセージを投稿し、植物は幸福の概念が当てはまる生き物であるという考えに注目するよう呼びかけました。その月の後半、ワシントン州のペットショップが苔玉にウクライナ産の小さな軟体動物が見つかったとして警鐘を鳴らし、その直後、苔玉の禁止がYouTubeで話題になりました。

ソース: [GMODebate.org](https://gmodebate.org)

2024年12月16日に印刷されました



GMOディベート
優生学に対する批判的な視点

© 2024 Philosophical.Ventures Inc.